



令和 6 年 度

〈2024 年 4 月～2025 年 3 月〉

病院事業年報



岩手県立磐井病院

Iwate Prefectural Iwai Hospital

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平 17

電 話 0191-23-3452 (代表)

F A X 0191-23-9691 (代表)

<https://iwai-hp.com/about/nenbou/>



<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します

<岩手県立磐井病院 診療基本方針>

1. 患者さんの安全性を最優先とした医療を行います
2. 患者さんの心理的安全性に配慮したチーム医療を行います
3. 十分な説明を行い、同意に沿った医療を提供します
4. 多職種が協働し、最新で専門性の高い医療を目指します
5. 地域の施設と連動し、患者さんの診療・生活をサポートします
6. 最新技術を駆使して、利便性のよい医療を目指します

患者さんの権利

医療とは患者さんと医師をはじめとする医療提供者とが相互の信頼関係に基づき、協力してつくり上げていくものであると考えています。当院は、「納得できる医療の提供を目指す」という理念のもと、患者さんの基本的な権利を明確にするとともに、患者さんに守っていただく責務を定め、「患者さんの権利と責務」としてここに制定します。

1. 個人として尊重され、良質な医療を公平に受ける権利

患者さんは、治療や検査などに当たり、社会生活を営む一人の人間として尊重され、差別を受けことなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ適切な医療を受ける権利があります。

2. 十分な説明と情報提供を受ける権利

患者さんは、検査や治療の必要性、危険性、他の治療方法の有無などについて、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。

3. 自らの意思で選択・決定する権利

患者さんは、自分の意思で受ける検査や治療方法を選定し、または望まない医療を拒否する権利があります。他院を含め他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

4. 個人情報やプライバシーを保護される権利

患者さんは、診療過程で得られた自らの個人情報とプライバシーを守られる権利があります。

令和6年度年報の発行に寄せて

院長 阿部隆之

本年も、磐井病院令和6年度の活動報告が出来ますことを嬉しく思います。

2006年に狐禅寺地区へ新築移転した当院も、まもなく20年の節目を迎えようとしています。外観の美しさは新築当時と変わりませんが、設備面ではさまざまな不具合も見られるようになってきました。しかし、この施設は地域住民の健康と生命を守る砦となる建物です。適切な修繕を重ねながら、これからも末永く大切に使用していきたいと考えております。

この20年を振り返りますと、皆様もご存じのとおり、まさに未曾有の出来事が続いた時代でした。東日本大震災、COVID-19の世界的流行。さらにその後の補助金減額や物価高騰による病院経営難が、現在も私たちに悩ませています。

そのような状況の中でも、当院がかろうじて経常損益をプラスで維持できているのは、職員のたゆまぬ努力と、日頃より連携をいただいている関係施設の皆様のご協力の賜物にほかなりません。病院管理者として、改めて心より御礼申し上げます。

来年度は診療報酬改定の年でもあります。国においても医療機関の厳しい現状を踏まえ、2年間でトータル3.09%のプラス改定が示されました。しかしながら、これで安心できる状況ではありません。今後もこれまで以上の努力が求められます。その中心となるのが、「連携強化と機能分化」です。疾病に悩む患者さん、リハビリテーションを必要とする患者さん、あるいは終末期を迎えられる患者さんなど、それぞれが希望に沿った最適な場所で医療や介護を受けられる体制を、地域全体で構築していくことが重要です。

当院は急性期医療を担う中核病院として、今後もさらに質の高い医療の提供を目指してまいります。県からもその役割を託されており、来年度はハイケアユニット（HCU）の設置に向けて入札および着工を予定しております。これまで以上に高度な医療を地域住民の皆様に提供できるものと確信しております。

また当院では、「ACP（Advance Care Planning：いわゆる人生会議）」の推進にも取り組んでいます。患者さんがご自身の意思を大切にしながら、その人らしい最期を迎えることができるよう、病院を挙げて支援する体制づくりを進めています。かつては死について語ることがタブー視される風潮もありましたが、その人が最後まで自分らしく生きるためには、ACPは欠かせません。住民の皆様はもとより、介護施設や医療機関の皆様にも、ぜひ積極的にこの議論にご参加いただければ幸いです。

「地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します。」という理念のもと、職員一同、地域医療を守るという使命をもって、これからも全力で取り組んでまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目 次

I 病院の概要

沿革	2
病院年譜	2
診療圏人口・当院の患者状況	4
標榜診療科	4
病床数・平均在院日数	5
施設基準	5
職員体制・医師の状況・組織図	9
医療統計	13
事業運営の状況	16
指定医療機関・学会認定	18
緩和ケア病棟の概要	20
臨床研修プログラム	22

II 部門別活動報告

1 診療科

緩和医療科	32
呼吸器内科	33
消化器内科	34
循環器内科	36
小児科	37
新生児科	38
外科	40
整形外科	42
脳神経外科	43
形成外科	44
皮膚科	46
泌尿器科	47
産婦人科	49
放射線治療科	50
画像診断科	51
眼科	52
耳鼻いんこう科	53
総合診療科	54
脳神経内科	56
救急科	57
歯科口腔外科	58
麻酔科	59

2 各部門

看護科総括	60
外来	62
手術室・中央材料室	64
2病棟	66
3東病棟	68
3西病棟	70
4東病棟	72
4西病棟	74
5病棟（緩和ケア）	76
医療安全管理室	78
患者支援センター	79
医療福祉相談室	81
薬剤科	83
放射線技術科	86
臨床検査技術科	88
臨床工学技術科	90
リハビリテーション技術科	92
栄養管理科	95
地域連携室	97
医事経営課	99
総務課	101
診療情報管理室	102

III 委員会活動報告

委員会組織図	104
医療安全管理委員会	105
院内感染予防対策委員会	106
衛生委員会	108
臨床研修管理委員会	110
臨床検査技術科運営委員会	111
薬事委員会	112
診療情報管理部会	113
輸血療法委員会	114
褥瘡予防対策委員会	115
放射線安全管理委員会	117
NST（栄養サポートチーム）	118

目 次

呼吸ケアチーム	119	VI どこでも医療講座・広報誌	
地域医療福祉連携室運営委員会	120	どこでも医療講座	150
リハビリテーション技術科運営委員会	121	連携いわい 令和6年4月 第43号	152
クリニカルパス委員会	122	連携いわい 令和6年7月 第44号	156
IV 学会等実績・専門資格		連携いわい 令和6年11月 第45号	160
医局	124	連携いわい 令和7年3月 第46号	164
看護科	130		
薬剤科	131		
放射線技術科	131		
臨床検査技術科	131		
医療相談室	132		
栄養管理科	132		
リハビリテーション技術科	133		
視能訓練	133		
臨床工学技術科	134		
医事経営課	134		
認定医・専門医・指導医資格等	135		
専門資格等（医師以外）	138		
V 医事統計			
診療科別患者数	143		
年度別患者数	144		
救急患者数	145		
手術室実績	146		
他治療実績	146		
がん診療実績	147		
サマリー作成率	147		
健診受診率	147		
周産期実績	148		
褥瘡・栄養サポートチーム	148		
透析	148		
公衆衛生	148		
薬剤管理指導料	148		
入退院調整	148		